

平成 28 年度 106 の日ウォーク

平成 28 年 11 月 14 日（月）に「106 の日ウォーク」（主催：秋田岩手風景街道づくり協議会）が開催されました。このイベントは、国道 106 号を PR するために平成 16 年から始まったもので、10 月 6 日を「106 の日」とし、道路工事現場の見学や街道の歴史などにふれるイベントを開催しています。

今年度は、台風第 10 号の影響により、国道 106 号が崩落・寸断されたことから、開催を一時見送っておりましたが、参加を希望する市民の方々の声と、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所をはじめとする関係機関の皆さんのご協力のもと、無事開催することができました。

1ヶ所目は、宮古箱石道路腹帯第 2 トンネルを見学。トンネル内を実際に歩きながら、工事請負会社の方から、使用している機械の説明や構造等についての紹介をしていただきました。

2ヶ所目は、宮古箱石道路（仮）新箱石トンネルを見学。「セントル」(※) がトンネル外に出ている状態を見ることができるのは、三陸国道事務所の担当者も 20 年以上携わって 2 回目というほど、大変貴重な機会とのことでした。

移動の道中では、台風第 10 号の被災現場を通り、被害状況や復旧状況を確認しました。

その後、岩井地区トンネル、新区界トンネル、盛岡市鍛冶町の一里塚、よ組番屋、旧盛岡銀行を見学し、国道 106 号の歴史について知識を深めました。

参加者の中には、昨年度も参加した方もおり、「1 年間でこれほど進むのか」と驚いていました。

三陸国道事務所や岩手河川国道事務所をはじめとする、全国からの応援職員や工事関係者の方々のご尽力に、改めて感謝する一日となりました。

※セントル…貫通したトンネル内でコンクリートを流し込み、固めていく機械



セントルによる作業状況



トンネル外に出ているセントル



(仮) 新箱石トンネル



岩井地区トンネル



新区界トンネル



盛岡市鍛冶町の一里塚



よ組番屋



旧盛岡銀行